



研究部だより

令和7年7月23日発行

第1号

担当：川村

一学期も終わり夏休みですね！時々リフレッシュもしながら、暑い夏を乗り切っていきましょう！

そして一学期の間では、各学部で様々な学習が展開されていたかと思います。今年度も研究部では「研究部だより」を7回発行する予定しております。各学部の授業実践や研修会の報告等をお伝えしていく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。今号は小学部中ブロックと高等部3学年の取り組みを紹介します。

ICT を活用した授業実践①

高等部3年生 美術 題材名「絵手紙」

授業者 田中麻・高等部教員

対象生徒の様子

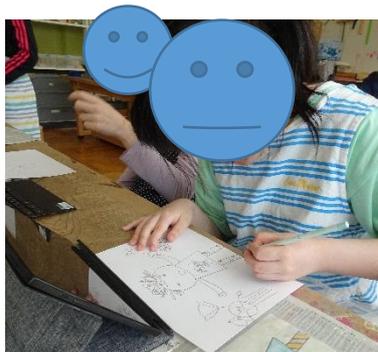
- ・これまでの学習の中で、タブレット端末を使用してキーボードで文字を入力したり、インターネット検索を行ったりする経験をしてきており、一人でも操作方法を理解して行える生徒が多い。
- ・休み時間には YouTube で動画を視聴している生徒が多い。

ICT 活用の意図

- ・対象物を観察して絵を描く学習を行うに当たって、実物のモチーフを基に描画を行うことも検討したが、モチーフの数の確保・保管場所・生徒の実態の幅等を考えた時に難しさを感じた。
- ・タブレットで画像検索を行い、写真を見て描く方法をとることにより、生徒自身がテーマを選んだり考えたりできるメリットがあると考えて授業に取り入れた。

ICT 活用の成果

- ・インターネットで検索をすると多様な画像が表示されるため選択肢が多くなり、発想の広がりが見られた。また描画方法の幅を広げることができた生徒もいた。
- ・「絵手紙」の画像検索をすることで、絵手紙がどういうものかということも理解しやすかった。



ICT を活用した授業実践②

小学部4年生 生活単元学習 単元名「校外学習に行こう」

授業者 船場悟睦・小学部教員

対象生徒の様子

- ・実物大のレジの写真の画面の位置に、リンクのみでスライドが遷移する画面を開いたタブレット端末を設置し、バーコードリーダーの玩具も用意した。児童は読み取り場面でバーコードの位置を確認することや、支払い方法を選択した後に財布からお金を出し、投入口にお金を投入するシミュレーションを教師や友達の手本、音声案内や画面上の表記を参考に行い、手順に迷いが少なくなる様子があった。

ICT 活用の意図

- ・音声案内や画面遷移を基に、注文（会計）の手順に見通しをもって取組むことを目指して学習を設定した。
- ・校外学習の行き先である「DAISO」や「くら寿司」での活動を事前に学習するために教材を用意した。会計や注文の際にタブレット型端末やパネル画面にて操作するため、事前学習としてICTを活用した。

ICT 活用の成果

- ・注文（会計）の操作を校外学習の際に言葉掛け等がなくとも、操作できる場面が増えた。

